

(別紙4(2))

事業所名: グループホームからこ

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 4 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	生活の質を高め身体拘束のないケアの取り組みに取り組んで欲しい。	利用者毎の身体及び精神状況を見極め、なるべく拘束を行わないようにする。	活動パターンの把握を行い細かく把握及び記録し拘束しない代替案を検討していく。(毎月ミーティングで検討し身体拘束委員会へ問題提議する)	1ヶ月
2	26	施設サービス計画書における長期及び短期支援目標に対し具体的な支援状況の変化や入居者の満足度への反映が確認できない状況となっている。	支援状況の変化や入居者の満足度が客観的にわかるような工夫をする。	入居者の有する能力をミーティング等で把握し共有化する。また、入居者自身がサービス内容満足度に対する意見を伝える事が出来ない場合は、表情や生活上の雰囲気把握をするよう努力する。	1ヶ月
3	35	毎月の避難訓練の実施の工夫をして欲しい。消防設備及び障害物等の点検を毎月実施して備蓄品の補充と消費期限の備蓄リスト作成を。	避難手順の工夫と備蓄、消耗品の定期的な確認、把握を行う。	非常災害対策本部設置要綱に準じた避難訓練の実施と備品、消耗品の点検リスト作成をし定期的な確認を行う。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。